





	ルセンティス0.2mg群 N=74		レーザー群 N=74	
	n/M (%)	95%信頼区間	n/M (%)	95%信頼区間
治療開始24週以前に死亡	4/74 (5.4)	0.0149, 0.1327	4/74 (5.4)	0.0149, 0.1327
治療開始24週以前に、いずれかの眼で治療のスイッチを要する	11/74 (14.9)	0.0766, 0.2504	18/74 (24.3)	0.1510, 0.3569
治療開始24週後に、いずれかの眼に活動性のROPを有する	0/65	0.0000, 0.0552	0/62	0.0000, 0.0578
治療開始24週以前に、いずれかの眼に不良な形態学的転帰を有する	1/73 (1.4)	0.0003, 0.0740	7/69 (10.1)	0.0418, 0.1979

M = 各構成要因が欠測ではない患者数  
n = 各構成要因に該当する患者数

## 2. 結果

ルセンティス0.2mg群とレーザー群の比較において、90日以内に治療開始24週以前に死亡した患者数は、ルセンティス0.2mg群で4名(5.4%)、レーザー群で4名(5.4%)であった。また、治療開始24週以前に、いずれかの眼で治療のスイッチを要する患者数は、ルセンティス0.2mg群で11名(14.9%)、レーザー群で18名(24.3%)であった。治療開始24週後に、いずれかの眼に活動性のROPを有する患者数は、ルセンティス0.2mg群で0名(0%)、レーザー群で0名(0%)であった。治療開始24週以前に、いずれかの眼に不良な形態学的転帰を有する患者数は、ルセンティス0.2mg群で1名(1.4%)、レーザー群で7名(10.1%)であった。

Image

	ルセンテイス0.2mg群 N=9		レーザー群 N=11	
	n/M	95%信頼区間	n/M	95%信頼区間
治療開始24週以前に死亡	1/9	0.0028, 0.4825	0/11	0.0000, 0.2849
治療開始24週以前に、いずれかの眼で治療のスイッチを要する	1/9	0.0028, 0.4825	3/11	0.0602, 0.6097
治療開始24週後に、いずれかの眼に活動性のROPを有する	0/8	0.0000, 0.3694	0/11	0.0000, 0.2849
治療開始24週以前に、いずれかの眼に不良な形態学的転帰を有する	0/9	0.0000, 0.3363	0/11	0.0000, 0.2849

M = 各構成要因が欠測ではない患者数  
n = 各構成要因に該当する患者数

### 3. ROP

ROPの発生率はルセンテイス0.2mg群で31.1% (23/74)であり、レーザー群で18.9% (14/74)であった。

ルセンテイス0.2mg群と0.1mg群を比較すると、ルセンテイス0.2mg群で治療開始24週以内にROPを有する患者は、ルセンテイス0.1mg群よりも多かった。

### 4. 形態学的転帰

- ルセンテイス0.2mg群では、治療開始24週以内に、いずれかの眼で治療のスイッチを要する患者は11例 (15.1%)であった。レーザー群では、治療開始24週以内に、いずれかの眼で治療のスイッチを要する患者は6例 (8.2%)であった。ルセンテイス0.1mg群では、治療開始24週以内に、いずれかの眼で治療のスイッチを要する患者は2例 (2.9%)であった。
- ルセンテイス0.2mg群では、治療開始24週後に、いずれかの眼に活動性のROPを有する患者は0例であった。レーザー群では、治療開始24週後に、いずれかの眼に活動性のROPを有する患者は0例であった。

Image





項目		症例数(%)	
		ルセンティス0.2mg群 N=74	レーザー群 N=74
性別	男性	33 (44.6)	37 (50.0)
	女性	41 (55.4)	37 (50.0)
人種	白人	43 (58.1)	45 (60.8)
	黒人	0	3 (4.1)
	アジア人	27 (36.5)	23 (31.1)
	その他	4 (5.4)	3 (4.1)
地域*1	Region 1	45 (60.8)	44 (59.5)
	Region 2	29 (39.2)	30 (40.5)
出生時の在胎週数	平均値±標準偏差	25.8 ± 2.25	26.2 ± 2.59
	≤ 24	32 (43.2)	29 (39.2)
	> 24 ~ < 27	18 (24.3)	17 (23.0)
	≥ 27	24 (32.4)	28 (37.8)
出生時体重(g)	平均値±標準偏差	790.6 ± 244.32	830.6 ± 283.55
	≤ 750	39 (52.7)	37 (50.0)
	> 750 ~ < 1,000	15 (20.3)	13 (17.6)
	≥ 1,000	16 (21.6)	16 (21.6)
	不明	4 (5.4)	8 (10.8)
ROP 病変部位	Zone I	28 (37.8)	28 (37.8)
	Zone II	46 (62.2)	46 (62.2)
AP-ROP*2の状況	AP-ROP	10 (13.5)	10 (13.5)
	Non AP-ROP	64 (86.5)	64 (86.5)
ROP 重症度	Zone I/AP-ROP	10 (13.5)	9 (12.2)
	Zone II/AP-ROP	0	1 (1.4)
	Zone I/Stage 3+	12 (16.2)	11 (14.9)
	Zone I/Stage 3	3 (4.1)	1 (1.4)
	Zone I/Stage 2+	3 (4.1)	5 (6.8)
	Zone I/Stage 1+	0	2 (2.7)
	Zone II/Stage 3+	46 (62.2)	44 (59.5)
Zone II/Stage 2+	0	1 (1.4)	

\*1 Region 1 : オーストリア、ベルギー、クロアチア、チェコ、デンマーク、エストニア、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、イタリア、日本、リトアニア、ポーランド、スロバキア、台湾、イギリス、米国

Region 2 : マレーシア、ロシア、ルーマニア、メキシコ、サウジアラビア、トルコ、エジプト、インド

\*2 Aggressive Posterior - Retinopathy of Prematurity

□□□□□□□□□□□□□□□□\*

Image

	ルセンティス0.2mg群 N=73	レーザー群 N=69
投与例数	73	13
注射回数(%)		
1	0	2(2.9)
2	57(78.1)	8(11.6)
3	4(5.5)	1(1.4)
4	10(13.7)	2(2.9)
5	0	0
6	2(2.7)	0

\*ルセンティス0.2mg群は、レーザー群と比較して、注射回数2回で済んだ患者が多かった。

ルセンティス0.2mg群は、レーザー群と比較して、注射回数3回以上が必要な患者が少なかった。

Image



